



飯能ロータリークラブ会報



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida



世界に希望を生み出そう

RI会長 ゴードン R. マッキナリー

第2570地区ガバナー 高丹秀篤

第3グループガバナー補佐 齋藤栄作

希望を語ろう We are Rotary, together

第3123例会 2024. 6. 26

—— 親睦活動月間 ——

天候曇 (NO. 60-52)

会長 馬場正春 幹事 神田敬文

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 福島君、細田(伴)君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 馬場会長
- ・ソング 手に手つないで



【会長報告】

第2回目のクラブ協議会です。発表される委員長さん、是非よろしく願い致します。

私も今日がこれで最後のご挨拶ということで少し寂しい感じもします。開会5分前の緊張感と、点鐘前、皆さんの眼がワッと私に集まった時の感じはなかなか味わえないものだと思います。今日は第3123例会。私の例会が第3072例会に始まって51週。祝日週、振替等の休会を除きIMを含めて37回の例会を無事に終えることができました。これも神田幹事、川口SAA、そして会員の皆様のお蔭と思って感謝申し上げます。

会長をやらせてもらって一番印象に残ったのはやはりガバナーの公式訪問例会だったのかなと思います。何回も言って申し訳ないのですが、深谷のガバナーだったもので、7月3日に新札が発行される渋沢栄一のことを絶対におっしゃるだろうなと私は思っていて、その中で、飯能と深谷の繋がりと言えば渋沢平九郎。飯能戦争で能仁寺から顔振峠を越えて越生の黒山で自決した平九郎のことを思ったものですから、つい、公式訪問の時にその話をしてしまい、それが縁で高丹ガバナーとも仲良くなれまして、会う度に「ガバナー、飯能の平九郎ですよ!」とか言う「おお!」と言って。でも「平九郎はもっと背が高くてすごいいい男だったんだよ

な」とか小さい声で言ってるのを聞いたこともあります。そういうことで、1年、ガバナーとも楽しく、そして深谷RCの寺田会長とも大変仲良くなれて、私の財産だと思っております。

7月からの森年度は60周年事業に向けていろいろやらなければならないことがたくさんあると思います。私も来年の4月に向けて何とか森さんに成功をして頂きたく、「希望を繋ごう」というテーマを出させて頂いたのですが、いくら希望を繋ぐことができたのかなと、このように思っております。

1年間、セミナー等で地区に出ているいろんな方と出会ってお話ができ、勉強会も「ああ、こういうことをやるんだな」というのを知って、会長でなければできない経験をさせて頂きました。ロータリーソングには「どこで会っても やあと言おうよ」とありますが、どこで会っても「会長!」と言われました。来週からはどこで会っても「普通のおじさん」という感じで寂しいのですけれども、このような経験は会長をしないとできなかった、人生の中でもこういうことは二度とないのかなと思っております。これも1年間の皆様のご協力があったからこそ思っております。心より御礼申し上げます最後の「会長報告」とさせて頂きます。有難うございました。

【幹事報告】

矢島(高)パスト会長が復帰されました。身体を大切にしながらロータリーライフを楽しんで

頂きたいと思います。これからまたよろしくお
願い致します(拍手)。今年度の役員・委員長は
「年次報告」を7/17までに事務局に送信して
下さい。本日18時「旬彩香」での反省会に参
加される方はよろしくお願致します。

これで「幹事報告」を終わらせて頂きますが、
1年間有難うございました。

【報 告】

◎次年度会長 森君

何か月か前の次年度座談会あるいは委員長会
議、理事会等で細則の改定および会費の改定に
ついてはずっと説明をしてきました。6月理事
会で承認を受け、その後の例会で皆様には文書
で通知してありますので内容はすでにご存じか
と思います。細則第13条によると、文書でお
知らせしてから10日経った後の例会において
賛成の拍手を頂くことになっております。会費
を2万円上げさせて頂きましたがこれで潤沢に
なるかと言うと決してそういうことではなく、
あまり予備費が残らないということになるかと
思います。改めて賛成の方は拍手をお願い致し
ます(拍手)。有難うございました。来月から森年度
ということで1年間よろしくお願致します。

実は「行動計画会議」というのが今年から始ま
りました。単年度ではなく少なくとも3年間の
行動計画を作れということで、私と中里(忠)さん、
市川さん、馬場さん、矢島(高)さんの5名で会議を
行います。推進者としては市川さんにお頼みし
て、実はその「推進者会議」も今度あるので、改
めてまたお知らせをします。地区での会議が増
えてしまいますがよろしくお願致します。

◎次年度幹事 大崎君

長らく休会されていた間邊会員がいよいよ来
週から出席されます。リハビリ中の服装等にな
るかと思いますが、全く問題はありませので
大歓迎でお迎えしたいと思います。

BOXがABC順で見づらいため、来週から
はアイウエオ順に変わります(一部取りにくい
方は別枠)。使い易さを念頭に変更させて頂き
ますのでよろしくお願致します。

【委員会報告】

◎60周年実行委員会 土屋君

例会後、全体会ということで、担当委員長に
集まって頂き、スケジュールの再確認、計画、
組織表についてお話をしたいと思います。よろ
しくお願致します。

【出席報告】無届欠席1 山口出席向上委員

会 員 数		当 日	
全 数	対 象	出 席 数	出 席 率
65名	4名	56名	86.15%

【M U】

6/25 (日高) 馬場君、神田君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・1か月振りに例会に出席することができまし
た。皆さんよろしくお願致します。矢島(高)君
・早退します。 佐々木君
- ・1年間有難うございました。会員の皆様の温
かいご協力に感謝申し上げます。

馬場会長、神田幹事、中里(忠)副会長
森会長エレクト、川口SAA

本日計17,001円、累計額1,002,502円。

◎3日例会当番は半田、細田(吉)会員です。

【バッジ引継式】



・閉会点鐘 馬場会長

《第60期 第3回クラブ協議会(2)》

司会：馬場会長

◎吉島一良クラブ戦略計画委員長



当初の計画では、クラブ
奉仕、ロータリー情報委員
会と協力して、これからの
RCを模索していきたいと
書いてありましたが、
新井、吉田(行)委員の了解を
得て次の事業を実施致しま
した。昨年11/22ロータ
リー情報、クラブ奉仕、出席向上委員会と共に
「第1回炉辺会談」を開催致しました。私の方と
しては、アメリカの歴史とシカゴの生い立ちを
含め、RCの目的について話させて頂きました。
今年4/15「第2回炉辺会談」をロータリー情報、
クラブ奉仕委員会と開催致しました。その時は
「四つのテスト」について、その生い立ちと、「テ
スト」はあくまでも単数、〈4つの方向から見た
1つのテスト〉であり、必ずしも4つ(のテスト)
を満たす必要はないということをお話させて頂き
ました。4/24担当例会で「SERVICEの由来
について」というテーマで卓話を行いました。
WASPから始まりマルティン・ルターの「天職」、
キリスト教の「原罪」にまで遡ってRCのサービ
スについて話をさせて頂きました。RCの根幹
である「利他の心」「寛容」についても触れ、
結論として「五大奉仕」ではあるけれどもRCで
大事なことは職業を通じて奉仕を実践すること
であり、職業奉仕抜きにはRCは理解できな

い、あり得ないということをお話させて頂きました。個人的な意見がやや強かったのですが、新井、吉田(行)委員には前もって話をし、了解を得て話させて頂きました。1年間有難うございました。



◎加藤義明社会奉仕委員長

木川、間邊、田中、鎌田、服部委員と担当。来年度、飯能RC 60周年を迎えるにあたり馬場会長より「社会奉仕活動の継続事業、例えば『子ども食堂』を中心に検討するように」との用命

を頂きました。担当例会において、その分野に精通されている関田直子氏を講師に迎え、「飯能市内の子ども達の現状とロータリークラブに期待すること」という題で卓話を頂きました。その中で、「子ども食堂」に限らず、飯能市内にはいろいろな困窮をされている子ども達が多く居ることも知りました。馬場会長、森次年度会長ともいろいろご相談させて頂きながら、「子ども食堂」という一つの団体に特化してそこに支援をすることはなかなか難しい、それよりもそのときどきに合った支援の方法とかを広く考えた方がいいだろうというようなことも含めまして、「社会福祉協議会」に時代と共に対応ができるような支援をお願いすることとして、飯能RCからも支援をさせて頂く方がいいだろうというような方針とさせて頂きました。次年度、森会長、社会奉仕委員会の皆さんには、よりブラッシュアップをして頂いて、継続して頂ければというふうに思います。その他、「第34回せせらぎ杯中学生卓球大会」への協力、「歳末たすけあい募金」をさせて頂きました。1年間有難うございました。



◎大野 康環境保全委員長

杉田、藤原委員と担当。「水と衛生月間」の3/6中村力教育長から「飯能市の環境教育の成果と展望」と題して卓話を頂きました。これまでの飯能RCからの支援が大きな成果を上げており、今後も継続して支援することの意義を改めて確認することができました。5/2飯能市環境教育のために10万円を市に寄付致しました。飯能市の小・中学生のために有効に使われると確信しております。「飯能新緑ツーデーマーチ」天覧山・多峯主山10キロコースに参加しました。会員と家族12名で豊かな自然環境を満喫して、この環境を保全していこうという気持ちを新たに致しました。以上の活動を通して、豊かな環境を保全して次世代へ希望を繋ぐことができました。皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。

◎沢辺澗吉国際奉仕委員長

年度初めに委員長の 大野正幸さんが急にお亡くなりになり、私が跡を受けたわけでござい



す。11月、入間南RC主催の一般公開例会が開催され、会長幹事と出席致しました。ウクライナ出身の講師の方が大変熱のこもったお話をされまして、世界情勢の厳しさとウクライナ支援の必要性、平和な世界を目指すということについて心から感動したところでございます。2番目としまして、新しい会員の皆様が増えていることから、当クラブの国際交流の歴史を振り返りました。一つには、韓国・東清州RCとの交流再開につきまして、ランクもあることから交流を中断するという決定を理事会でして頂きました。次に、ベトナムとの交流事業は6年間にわたって続けられたもので、ベトナムの学校にPCを贈るという大きな事業でした。現地子ども達にも大変喜んで頂き、国家としても大変感謝をしているというふうな評価を得ております。この事業の実践者で当時の委員長だった藤原秋夫さんに卓話講師をして頂きました。「飯能市国際交流協会」とは本年度も交流を続けるよう心がけ、留学生のスピーチコンテスト、あるいは、ブレア市との交流の歴史の会等に出席を致しました。



◎原島伊佐夫青少年奉仕委員 (都築敏夫委員長代理・代読)

原島、秦委員と担当。飯能RCの冠事業として「第3回飯能RC杯少年野球大会」に対しまして、盾、メダル、軟式球を贈呈し、大会を支援致しました。また、「飯能RCカップ第34回せせらぎ杯中学生卓球大会」に対しまして、盾、メダル、試合球を贈呈し、大会を支援致しました。卓話につきましては、講師を「一般社団法人カプリチョーソ」理事の熊坂汐莉さんをお願いし、カプリチョーソが実施している〈地域の居場所〉としての「きまぐれ駄菓子屋」「子ども食堂」についてお話を頂きました。1年間ご協力有難うございました。



◎吉澤文男会員増強委員長

鈴木(康)、内沼委員と担当。会長方針である「希望を繋ごう」を踏まえ、継承、発展と充実した活動を維持していく上で、魅力ある人材が必要かと考え、あらゆる年代、しっかりと志のある方を推薦できるように、会長幹事にも同席して頂きながら会議を重ねて参りました。お蔭様で、皆様のご協力により鎌田泰由さん、服部融亮さんの、2名の入会を達成することができました。有難うございます。今年度、候補者リストに挙がっておりました方を次年度・天ヶ瀬委員長に引き継ぎまして、増強に繋げて頂けたらと考えております。1年間ご協力有難うございました。



◎増島宏徳会員選考委員長

矢島(巖)委員と担当。量より質ということで2名の素晴らしい方をご推薦頂き選考致しました。馬場会長には、もっと入れれば良かったなという気持ちがあると思いますが、やはり今どきの

状況を考えまして“いい人2人”というのもよろしいのではないかとということで、2名ですが、服部さんはもう定評がありますから、その2名の方に頑張って頂いて、RCを盛り上げて頂きたいと思っております。



◎小川晃男職業分類委員長

細田(伴)、半田委員と担当。割合最近入会された方も多いので、「職業分類表」をひと通りチェックして直せるところは微調整して直し、年度開始に間に合わせたという状況でございました。

皆さんご承知の通り、本来RCというのは職業人の集まりでして、当初は“一業種一人”という厳しい原則がございましたが、それは段々緩やかになってきており、最近では職業の無い方でもその奉仕というものに興味のある方であればRCに入会できるというふうな状況になっております。そういった「職業分類」に関する歴史の流れについて、担当例会で私の方から卓話を申し上げた次第でございました。1年間誠に有難うございました。



◎町田誠一会報・広報委員長

佐々木委員と担当。会報の作成を中心に1年間活動して参りました。皆さんご存じの通り、会報の配付は例会の内容を記録すると共に、会員の方々に再確認して頂くことが目的であります。

西川さん、西脇さん、両事務局員の方と、真野さんのご協力により、その目的を達成できたと自負しております。1年間ご協力有難うございました。



◎福島 毅雑誌委員長

鳥居、中川委員と担当。主に毎月の例会において各月発行される「ロータリーの友」の縦組・横組それぞれの中から、会員の皆様にとって興味深いタイムリーな記事やクラブの活性化に

役立つ情報を紹介する活動を行って参りました。新しい事業としては「ロータリーの友」への投稿に取り組みました。「1月号」縦組に掲載された「内外よろず案内」(チームポリオジャパンによる不用白衣の寄付募集)に応募し、ウェスト・ジョーダンRCに数十枚の白衣をお送りしました。小さいことでもポリオ撲滅に寄与で

きると思っております。「5月号」の企画「うちの子 特別版」に当委員会の投稿が記事として採用されました。「飯能RC」の文字が「ロータリーの友」の誌面で目にできることをとても嬉しく感じました。卓話につきましては、飯能市内在住で全国的にも有名なフレンチシェフの小峰敏宏氏をお呼びし、「フランス料理の魅力」ということで卓話を頂きました。継続事業としては、飯能市役所、市内図書館、行政センターへの雑誌配付を行いました。「ロータリーの友」の発送は、今期中までは「ヤマト運輸」の「クロネコDM便」でしたが、その廃止によって「郵便局」の「レターパックライト」に変更しました。ここにご報告申し上げます。1年間、会員皆様方にご協力を頂き誠に有難うございました。

◎土屋 崇ロータリー財団委員長



和泉委員と担当。当初の活動目標としては財団への寄付、中学生卓球大会への助成、「ロータリー財団月間」の卓話、セミナーへの参加ということでした。寄付につきましては例年通り、皆様の人头割りで210ドル

(前年と同じ)寄付をして頂きました。さらに、特別寄付「ポールハリスフェロー」として沢田 滯彦会員、馬場正春会長より寄付を頂戴しました。地区補助金は1千ドルを地区より頂きまして、卓球大会への助成を致しました。卓話は地区ロータリー財団委員会統轄委員長の茂木聡様より財団補助金についてお話頂きました。あとは、地区大会、研修会、財団のセミナーへの参加ということで活動して参りました。1年間ご協力有難うございました。

◎本橋 勝米山記念奨学委員長



森田委員と担当。地区の渡邊藤男統轄委員長と共に、(米山記念奨学事業は)奨学生に単に奨学金を支給するのではなく、経験豊かなロータリアンがカウンセラーとしてケアに当たり、所属クラブ全体の交流を通じて奨

学生はRCを学び、その活動や日本人の心に触れて頂き、国際社会に出て活躍し、将来母国と日本との懸け橋となって希望を繋ぐことのできるような優秀な奨学生を導き育てることが大事だということで、その役割を果たすために活動して参りました。今年度は世話クラブとして奨学生を受け入れておりませんでした。6/12担当例会に富士見RCから奨学生のロー・ティクイン チャンさんを招いて、「留学生から見た日本の文化について」等の卓話を頂きました。「米山月間」には特別寄付を小川晃男パスト会長、馬場正春会長、森健二会長エレクト、私と、4名より頂戴しました。誠に有難うございました。今年1年お世話になりました。